モニターのここに注目

今月の登場は、瀬川孝美さんです。瀬川さんは、誇りのもてる美しいまちづくりに注目しました。そして、実現のための手法として、市民の皆さん一人ひとりが取り組むことのできる、ごみの分別収集の徹底や、ボランティアの活用を提言してくれました。

私がモニターに応募した訳は

あなたは、どこに住んでいるの？どこから来たの？」と聞かれて、「私はきれいなまち笠岡に住んでいます。」と胸を張って言いたい。

私が隣町の福山市から、自然を求めて笠岡市に越してきて15年になります。5年前からは4㎞のウォーキングを始めました。そして、歩くようになって初めて気づいたことがあります。笠岡に来て良かったなあと思うのは、道端で出会う人たちから気軽に声をかけていただけることです。

ウォーキングの途中で、いただいたイチジクや大根を手に家に帰ったことは、一度や二度ではありません。もう一つ、公園などで子どもたちが元気に遊び回っている風景は、周辺の街よりも多く見られ、笠岡市の良いところだと思っています。

反面、歩き始めて気になることは、道路脇や山の中に捨てられたごみの多さです。最初の2年間は一週間に一回のペースで、コースのごみと空き缶を拾って歩いていましたが、家に着く頃には袋一杯で、とても歩いたという爽快感は得られませんでした。そして、こんなことを話す機会もあるかと思い、市政モニターに応募しました。

分別収集に思う

笠岡市では近隣市町に先駆け、平成9年度からモデル地区によるごみの分別収集を始め、平成14年度からは市内全域で実施しています。

分別の対象は、缶類、びん類、紙類、布類とプラスチック類の5品目で14種類となっています。

この分別収集も、当初は行政の熱心な指導もあり、きちんと分別されていたと思います。しかし最近では収集場所に立ち会うと、一部で洗っていないビールの缶やトレイが出されていることもあり、分別されていない不燃物や可燃物も多くなっているように見受けられます。

市議会・行政に望むこと そして私たちは

ごみのポイ捨てをなくすため、そしてルールを守った分別を徹底するためにも、私たち市民全員が、美しい街をつくる意識をもつことが大切だと思います。

そんな気運盛り上げの方法として、市議会には、「日本一、美しいまちづくり宣言」を、行政には「美しいまちづくりキャンペーン」の実施を提唱したい。「ごみのない美しい街コンテスト」とか、「分別モデル地区表彰」や「美しいまちづくりポスター・標語」の募集などなど。

ボランティアネットワークの充実を

「まちづくりキャンペーン」を実施するにも、行政だけでは負担が大きい。そこで、ネットワーク組織として、「美しい笠岡づくりボランティア」のようなものを作り、行政と市民協働で企画立案してはどうでしょう。活動を盛り上げることで、近い将来「私はごみのない美しい街、笠岡に住んでいます。」と胸を張って言えることを願っています。皆さん、私たち市民がごみに少しでも関心をもち、美しい笠岡のまちづくりを目指してみませんか。

このページのご意見・ご感想をお待ちしています。
また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。
お便り…〒七一四―八六〇一　笠岡市中央町一―一
企画政策課モニター係
☎(69)2114　FAX(62)0228